



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)～

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

ぐちょくりっこう
愚直力行

～心を磨き、技を練る～

校長 澤田 純一

今年も残りわずかとなりました。1年間を振り返り、それぞれが充実した日々を過ごしたことと思います。私も、とても貴重な時間を皆さんと共有できました。ありがとうございます。

さて、皆さんは義務教育最後の中学校生活を送っています。授業、部活、各行事など、カリキュラムに組み込まれていますが、その目標は、知・徳・体をバランスよく育成し、社会に貢献できる人物になって欲しいという理念から生まれています。これから様々な体験や勉強を通して、皆さんは成長していきます。よりよく、より大きく、よりたくましく成長してほしいと願っています。

そこで、皆さんが大きく成長するに欠かせない事は何でしょうか。それは、どれだけ「愚直」になれるかだと思います。愚直とは、何事に対しても素直に実行していくことです。勉強でも、スポーツでも、芸術でも大成するには共通した不可欠事項です。そこで、学校生活の例をあげて説明しましょう。毎日の授業で、繰り返し基礎を学ぶことがあります。また、ある時は図書室で調べ学習をしたり、クラスで発表したり、黙々と暗記したりすることもありますね。その時に、素直に全力で取り組んでいくことが「愚直力行」です。逆に「こんなことをして、何になるんだ。」「勉強なんて将来役に立たない。」「つまらない。やっても無駄だ。」と考え実行していると、吸収することもできず、その差は大きく開いてしまいます。部活でもランニングや筋トレなど決して楽しいとは言えない練習があるでしょう。「これをすれば、上達する。」「強くなるためには、必要だ。」と、素直に全力で取り組むことが第一に求められます。これが「愚直力行」です。

私は自分の経験から、行動することに対して4パターン人間が存在すると思います。

- ①一つ目は、「はい、やります。」と言って、直ちに一生懸命に取り組む人間。
- ②二つ目は、「やりたくない。」と文句を言ってから、とりあえず取り組む人間。
- ③三つ目は、「はい、やります。」と言って、全く取り組まない人間。
- ④四つ目は「やりたくない。」と文句を言って、全く取り組まない人間。

皆さんが、将来、大人になって仕事をする時、最低でも、②以上が求められます。しかし、②では「やることはやるが、あいつは文句が多い。」という評価になってしまいます。③は「あいつは、返事ばかり。」となり④は全く相手にされません。皆さんには、これからの中学校生活を①で過ごしてほしいと願っています。①は、皆さんを大きく成長させます。夢を夢で終わらせないためにも、愚直であり続けて欲しいのです。そして、いつの日か自己実現を果たすとともに社会に貢献できる人物になることを期待しています。しかし、大人になって急に①のような考え方ができるわけではありません。若い頃に身に付いた考え方を、そう簡単に変えることはできないのです。なので、中学生の今から素直に全力で取り組む姿勢を培っていく必要があるのです。(本当に大切です。)

「素直な気持ちを大切に、全力で取り組んでいく。これを愚直力行という。」これは、かつて、恩師に教えられた言葉です。そして、この言葉をもって、平成27年の結びとします。

～平成27年も終わろうとしています。保護者、地域の皆様の御協力があってこそと感謝申し上げます。来年もよろしくお願ひいたします。よい年をお迎えください。(教職員一同)～